

# 議会だよ入善

GIKAI DAYORI NYUZEN



浦山新村社神明社に伝承される左義長。メ飾り、書初めなどを持ち寄って焼く。  
青竹の割れる音が大きいと五穀豊穡という。

## 12月定例会

- ☆ 一般会計の概要……………2P
- ☆ 常任委員会レポート……………4P
- ☆ 平成7年度決算審査の概要……………6P
- ☆ 一般質問……町政を問う（11議員）……8P
- ☆ ありやどうなっとるがけ？……………20P
- ☆ 上青小学校の児童が議会を初傍聴……………21P
- ☆ 傍聴席・各種団体からひとこと……………22P

No.99号

1997年1月27日  
(平成9年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会  
富山県下新川郡入善町入膳3,255  
☎0765(72)1100 〆0765(74)0067

正補會計一般

# 新沿岸漁業構造改善事業

## 〔製氷・貯氷・活魚施設〕に4050万円



漁業関係者による豊漁と航海安全の祈願祭

12月定例会は、12月9日から20日までの12日間の会期で開かれた。今回の定例会で、1億6353万8000円を増額し、予算総額を110億7730万2000円とした。歳入の主なもの、地方交付税、国・県の負担金、補助金、財産収入及び諸収入などであり、町債を減額した。

歳出の概要は、次のとおりである。

新沿岸漁業構造改善事業

今まで、漁業用の水を経田へ買いに行っていたが、製氷、貯氷施設を作ること、で時間のロスをなくす。又、活魚施設を整備することで魚価の付加価値を高め、栽培漁業の充実を図る。  
(4050万円)

下水道整備事業の早期着工を図る

平成9年度の着工を目指し、基本設計を委託する。  
(600万5000円)

とも補償制度の改正、転作田の補償対象は

制度改正により、転作に

計画参加した水張り田やバラ転作にも、今回、補償の対象とした。  
(3685万3000円)

小口事業融資  
預託金の増額

中小企業者の借入件数の増加により、町が預託金を増額し4億8000万円を6億円に貸出し枠を引き上げる。  
(2000万円)

# ショートステイの希望者増え

## 1,800日から3,135日に事業費増額



出勤を前にした“ホームヘルパー”全員集合

ホームヘルプ  
サービス事業

町民へのより良い福祉サービスを提供するために、ヘルパーの増員と活動車を購入する。  
(644万2000円)

在宅介護  
支援事業

在宅老人の短期入所(ショートステイ)が増えたことと増額する。  
(1062万9000円)

最後の

町有独立公民館建設

新屋地区民からの要望があった地区公民館は、平成9年度、早期建設を目指し

設計委託する。

(552万円)

### 監査委員に船平勇氏選任



12月21日で任期満了の谷久重氏の後任に、船平 勇氏を選任することに同意した。

住所 上野11234の14  
昭和11年2月17日生まれ  
税務大学卒、富山税務署長、  
金沢国税局徴収部長など歴任

### 地域活性化特別委員会を ふれあい交流プラザ特別委員会に変更

委員長

副委員長

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

野 坂 俊 一

東 狐 和

西 尾 政 巳

田 原 進

廣 瀬 喜 代 志

五 十 里 隆 章

池 原 金 与 志

石 川 昭 男

# 常任委員会レポート

12月16、17、18日の3日間、総務、文教厚生、産業建設の各常任委員会が開催された。12月議会は新年度予算編成の前哨とあつて、各委員会とも、当局に対し、提案する形の意見が多く出された。その要旨を報告する。

## 総務

ホームヘルパー30名確保に向け、計画的な措置を

ホームヘルパーが15名から20名に増員するもので評価する。

入善町ゴールドプランが目標としている30名確保に向け、計画的に措置するよう要望する。

県も転作奨励金を助成するよう強く働きかけよ



早くも育苗の準備に精を出す農家

国の制度改正により、バラ転や調整水田も転作奨励金の対象となったが、農家の経営安定には、生産に見合った補償制度の確立が必要であり、国、町、JAだけでなく、県も助成すべきである。

県に強く働きかけるよう要望する。

## 文教・厚生

臨時職員は女性が多い。正職への採用や待遇改善を

男女雇用機会均等法が施行され年数が経過しているにもかかわらず、全教に共通して女性の臨時職員が多いのは、女性に対する差別があるのではないかとの意見があった。正規職員への採用や待遇改善を図られたい。

ホームヘルパー活動車の台数を増やす努力をせよ

在宅寝たきり高齢者や重度身体障害者、虚弱老人への介護の充実は評価する。ホームヘルパー活動車は新車に固執するのではなく台数を増やすことにも配慮されたい。

用地購入は確実な見通しを立ててから予算計上せよ

下山芸術の森整備事業用地購入費は、当初、地権者の理解が得られて予算計上したとの説明であった。借地に変更になったのは、十分な調査と努力が欠けていた面があり注意を促す。

魅力的な企画が望まれる発電所美術館



魅力的な企画が望まれる発電所美術館

# 産業・建設

## 吉田邸の移転場所に

疑問

吉田邸の移転場所を舟見山自然公園としているが、年間多くの人が訪れる、ふれあい温泉や舟見寿楽苑、バーテン明日等の付近が利用しやすく、移転価値があるのではないかと検討課題とされたい。

## 新たにバラ転も

対象に

新生産調整推進対策事業費は、当初の「とも補償推進計画」に不確定要素があった。  
今回の補正は、団地面積だけでなく、バラ転も対象になったことによるものであり、現状に少しでも近付いたものと思われる。

個人や営農組合に、  
低利の貸付制度実施  
に努力せよ

家族農業や集団営農組合に、低利の貸付制度を実施している全国の自治体を調査し、町独自の制度の早期実現を強く要望する。

中所得者層も対象に  
した住宅対策が必要

所得制限のため町営住宅に入居できず、町外に流出する傾向がある。  
町営住宅の建て替えに当たっては、高齢者や障害者にやさしい住宅建設を心掛け、合わせて、中所得者層の住宅対策を講じられたい。

用水改修は三方コン  
クリートでなく自然  
を活かして

地下水涵養など健全な水循環をはかり、自然を活かし、魚が住みやすい環境などを考慮するよう県に強く要望されたい。

舟見山自然公園へ移転される吉田邸



## 議員提出議案

次の意見書を国に提出した

定住外国人に対する地方選挙への参政権など人権保障の確立に関する意見書

定住外国人は、地域社会の構成員としてその役割を担っているが、住民自治とのかわりにおいて地方自治への参与の問題等、将来に向かって解決されなければ、さまざまな問題が考えられることから、政府において検討するよう求める。

在宅でも施設でも、人間の尊厳がたもてる公的介護保険制度の確立を求める意見書

21世紀の高齢化社会にふさわしい医療・社会保障の充実のために、医療・福祉など社会保障の水準の引き上げを図るよう求める。

建設省黒部工事事務所の機構拡充・大幅増員と防災・地域生活関連公共事業費拡大を求める意見書

わが国の国民生活や経済の基礎である道路、公園、河川、海岸等の社会資本整備はまだまだ立ち遅れている。また、集中豪雨による土砂崩れの発生や河川堤の決壊、寄り回り波による高波の発生など、防災対策が急務であり、地域住民の期待に応えるべく生活関連公共事業費の枠の拡大と、それに伴う機構拡充を図るよう求める。

# 決算

平成7年度



真剣に審査する特別委員会

## 町のお金が適正に効率よく使われたか

決算特別委員会は、9月20日委員会に付託された。平成7年度の各会計について12日間にわたり審査した結果、適正な執行と認め、賛成多数で認定すべきものと決定し、12月20日本会議に報告され認定した。

なお、審査の過程で出された要望・意見は、次のとおりである。

### ◆ 一般会計

歳入では、町税をはじめ自主財源が減少し、依存財源が多く、公債比率が伸びている。今後の財政計画に格段の努力が必要である。

また、町の予算は、当初予算が議決された後の補正の計上が多くなっている。当初予算は、1年間どれだけの予算でどんな事業をどんな優先順位でやるのか、予算執行計画や実施計画を議会に示すことが大切であるとの指摘が出た。

### ◆ 委員報酬は適切か

情報公開審議委員に対する報酬は、条例に基づく支払いとはいえず、委員会の開催のない支出は検討された。

### ◆ 補助金の整理

納税貯蓄組合補助金は、交付要項では、組合の健全な発展を図り、町税の納期内納付を助長するためのものとされている。その後、

### ◆ 借地の整理

公有地の借地料が1万円以下の物件が14件もある。

### ◆ 特別旅費の見直し

町民ふれあい号の実施に伴う町職員に対する旅費の支給は、既に町と直接かわりのない行事であり、検討されたい。

口座振替率が80%を超えるなど、補助金に対する不公平感も生じている。

県下でも交付を打ち切った市町村も多く、即、廃止はできないだろうが見直しの必要がある。また、各種補助金も、交付基準の明確でないものや、効果の期待されないものなど多く、今後、整理に向けて取り組みたい。

購入出来るものは購入し、計画的に整理するよう要望する。



町内を現地視察する委員会メンバー

## 反対討論

起債残高89億4546万8000円は大変な借金である。「起債償還は交付税措置がとられる」と述べているが、この種の交付税措置の中には、本来国庫補助対象だったものが含まれている。地方財政法からも可能である借り換えを行って利払いの節減をするべきである。

国保税軽減の積極的な手立てをとっているか否かが、国保税の高さにあらわれている。食糧費は引き続き真剣な見直しをし、官官接待と受けとめられる支出もやめるべきである。ひばり野小学校はあまりに修繕が多すぎる。

地方自治体のやるべき仕事は、「住民の安全、健康及び、保持する」ことである。

## 生活道路の整備

道路の整備は、町民サービスの要である。特に大型店関連の整備と、生活幹線道路網の改良整備を促進するよう望む。

## 施設の設計・施工管理

ひばり野小学校は開校直後だが、校舎の雨漏り、排水、給水施設に早くも修繕・改修工事が行われており、誠に遺憾である。施設の設計、施工管理が適切か、町と業者の責任体制を明確にする必要がある。

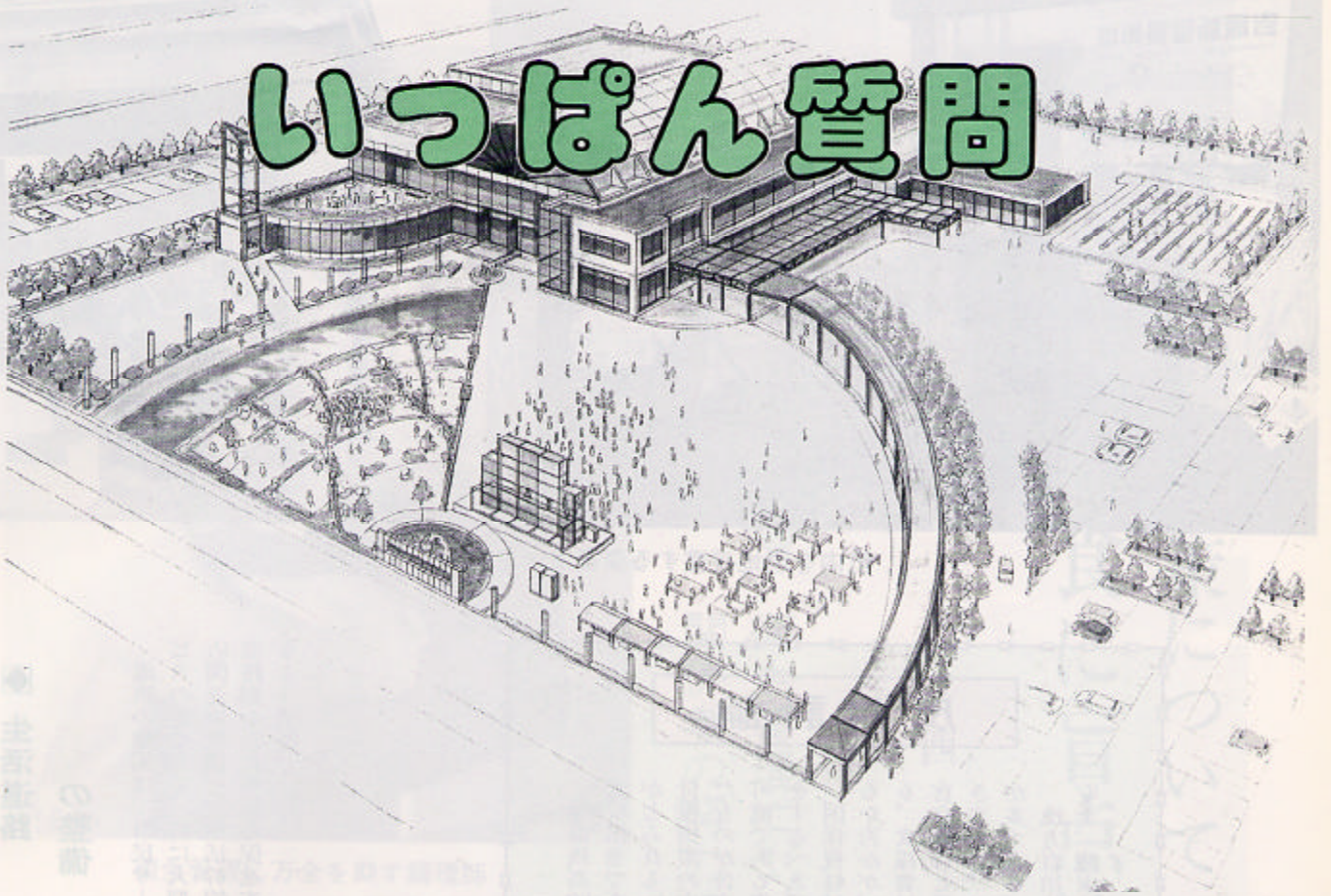
## みなさんの請願・陳情の

ゆくえ

今定例会に提出された請願4件、陳情7件の審査結果は、次のとおりである。

- 飯野地区防災行政無線設置助成に関する請願……………採択
- 町道黒東小学校寺田線の拡幅改良に関する請願……………採択
- 建設省黒部工事事務所の機構拡充・大幅増員と防災・地域生活関連公共事業費拡大を求める請願……………採択
- 消費税5%の中止を求める請願……………不採択
- 精神障害者の福祉施設充実に関する陳情書……………採択
- 水と魚に親しむ小径（仮称）設置に関する陳情書……………採択
- 西中校下における教育環境の向上を図るための陳情書……………採択
- 定住外国人に対する地方選挙への参政権に関する議会決議を求める陳情書……………採択
- 税金の使い方を見直し、消費税5%をやめるよう意見書提出を求める陳情書……………不採択
- 在宅でも施設でも、人間の尊厳がたもてる公的介護の確立を行うよう意見書提出を求める陳情書……………採択
- 青島用水沿い道路の舗装に関する陳情書……………採択

# いっぱい質問



(仮称) ふれあい交流プラザの施設イメージ図

## 第21回 定例会

# 町政を問う

## 11人の議員が登場

12月議会の一般質問は12日、13日の二日間に行われた。

町長の基本姿勢、今後の施策について、各会派の代表質問をはじめ、11名の議員が論陣を張った。主な内容は次のとおりである。

### 質問で取り上げられた主なもの

- 町長の基本姿勢
- 新年度予算の編成方針
- 特別養護老人ホームの建設計画
- 地方自治体の監査制度の改革
- 農家の負債対策
- 学校給食に盲点はないか
- コスモホールの10周年記念行事
- 総合計画の見直し

(注) 一般質問は、本人が原稿を書き、原則として、そのまま掲載した。



# 財政逼迫の折、 の基本方針を問う ひつぱく 新年度予算編成

大林 政雄 議員（新政会代表）

町長

健全財政に留意し、住民奉仕の  
念で緊急性を選択したい

手狭になった新屋地区総合会館

問 新政会を代表して平成9年度予算編成について伺う。未曾有の財政逼迫の折から編成の方針と、所信を問う。

町長 財政の逼迫については全く同感である。国債残高242兆円を超え、町債では約94億円となっていることは、ご指摘の通りである。本町では、財政調整・減債・下水道等の基金を約39億円積み立てているので、他町村に比し、より健全性ありと自負している。一つの事業にも住民奉仕の念でその緊急性や必要度を考慮

し、慎重且つ積極的に進めつつ編成にあたる所存である。

問 重点事業たる「ふれあい交流プラザ」については自治省より地域指定をうけていると聞くが、国庫補助なし県補助は去に過ぎず、従来に比し極端に減額されている。別途に有利な特別措置があつて然るべきと思考するが、また武村福祉会館等の類似施設との整合については、如何ように対処するお考えか。

町長 「ふれあい交流プラ

ザ」は仮称に過ぎず、本来的には健康福祉センターと解釈願いたい。現存する健康センターは老朽甚しく狭隘であるため、その代替的機能をもつと受け止めて戴きたい。従つて他の施設との整合を妨げるものではない。

問 固定資産税の税率について、「当分の間」と云う名目で現行税率を採用してから25年経過しているが標準税率に戻す意志ありや、また本年度の固定資産税は如何ように推移するか。

町長 ご意見の通り本税は、町税収入の50%を超える貴重な財源であり、率の引き下げは町財政を即座に圧迫するは必定。県下最低の税率を採用しているところであり、ご理解願いたい。

大角税務課長 新聞報道等によりご承知かと思いますが、諸々の素因により木造家屋は約70%の評価、土地は0.8%の下落となる見込みである。

## 新屋公民館の 進捗度合は

問 新屋公民館新設についての基本設計と現在までの進捗度合をお尋ねする。

町長 文化性の導入、21世紀のニーズに充分対応できる公民館を目指す。

上原教育長 町長答弁につきるが、地元の要望を踏まえ老若男女各層が気軽に利用できる施設を目指し、8年度中に用地確保を完了、9年度早々に着工の予定である。

## 減債基金を充当し 身軽になるべき

再質問 公債残高の推移計算は単なる算術的数値の羅列に過ぎない。減債基金等を充当し身軽になるべきでないか。また起債を余りにも安易に考えるべきでないと思考するが。

町長 数字を把握し理路整然たる質問に敬意を表するところである。健全財政の維持に努め厳粛に対処する信念である。

平崎財政課長 起債残高に基金充当のご意見も尤もであるが、次に控える下水道事業等に充てたい。

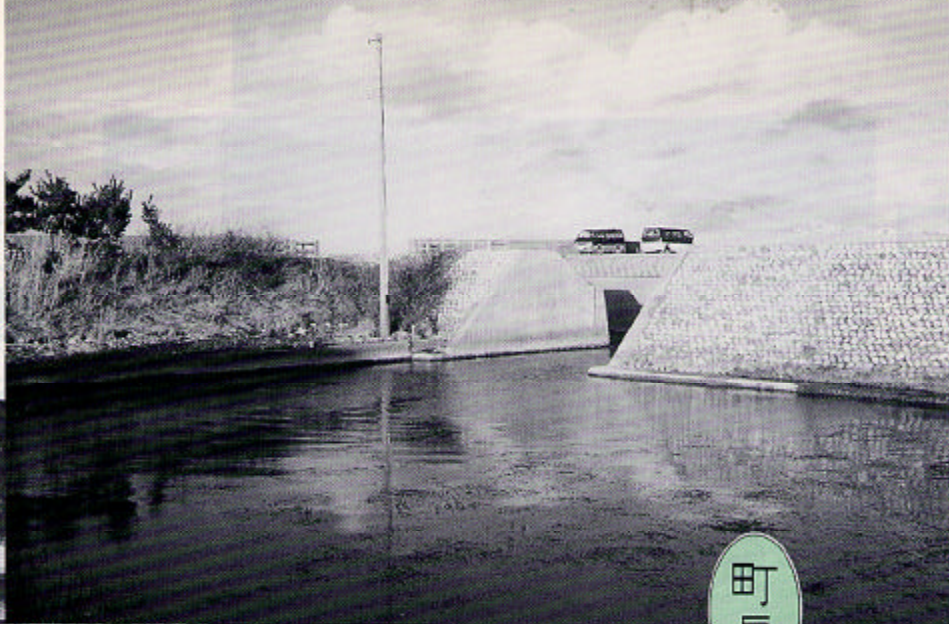
「ふれあい交流プラザ」については、公立病院のない町として健康づくりに積極的に対処すべき見地から当該事業縮小の考えのないこと申し添えてご理解を賜りたいところである。

# 平成8年度予算執行状況と 9年度編成方針を問う

佐藤 学 英 議員（民政会代表）

町長

町政は順調に推移している



整備が待たれる入川の舟溜り場

問 平成8年度予算執行に無理、無駄がなかったか。適正配分されたか。執行状況を問う。

町長 一般会計予算は繰越事業を含め9月補正まで112億4800万円。学校建設、幹線道路網整備など順調に推移している。「杉沢の沢スギ」の整備や桃李小学校建設など最終年度として、9年4月オープンに向け努力している。

予算の執行率は、一般会計67%、特別会計61・7%全体で65・4%と事業が順調に進んでいる。

## 平成9年度重点施策

を問う

問 平成9年度は、景気の

浮揚と活性化、そして3万町民のニーズに応えるべく積極大型予算とすべきだが……。

町長 政府の税政調査会の審議を充分見届けながら対処したい。農業所得についても、平成7年度伸びが期待出来ず、国の予算も対前年3%伸びで苦しい対応に迫られる。

## 特別養護老人ホームをもう1カ所造れないか

問 高齢化は、急速に進んでおり高齢者福祉対策は緊急の課題である。新ゴールドプランの実態と特養ホーム1カ所造りたい。

町長 新ゴールドプラン（高齢者保険福祉推進計画）の

実施のため、老人福祉法が改正された。

町でも老人福祉計画を作成した。現在までの進捗状況はホームヘルプサービスは目標の49%、デイサービス40%、ショートステイ52%となっている。今後、施設と在宅の福祉の二本立てを進めたい。

特養ホームの建設については、新川ブロックではベットの数が目標に達しており難しい。建設期成同盟会の結成を呼び掛けるとともに関係機関にも働きかけ、平成12年度以降に向かって運動を進めたい。

## 離岸堤の設置状況と

## 舟溜りの改修を問う

問 国土の保全と沿岸住民の生命と財産を守る離岸堤の設置状況と対応について。

町長 入善町11kmの海岸に新型離岸堤、離岸堤、緩傾斜堤70%の設置となっている。今後、離岸堤新規2基継続1基を予定している。

舟溜りの改修については、建設省や県と関係機関に強力に働きかけ実現に努力したい。土砂の除去については、地元と協議しながら要望に応えたい。

# 企業・団体の政治献金を 町長はどう考えるか

本多 幸男 議員 (町民クラブ代表)

町長

利権の土壌となり廃止が望ましい



相談に応える教育センター

問 厚生省の贈収賄汚職や政治家への企業・団体からの献金が、大きな政治不信を招いている。町長はこの状況をどう考えるか。

町長 汚職は許されるものではない。利権が常からむ中で、企業・団体の政治献金は廃止した方が望ましい。自分は後援会はあるが政治献金を受け入れる資金管理団体は持っており、

献金はもらっていない。

問 なれ合いの監査を排除するために、入善町の財務監査を公認会計士などの外部監査にする考えはないか。

町長 第25次地方制度調査会の答申もそのような方向である。町としても職員OB的な人でなく、厳正にチェックできる人材を登用していきたい。

問 美術館を4億4500万円で建設する計画が示されているが、その内容と場所をどこに想定しているか。

「前田常作21世紀美術館」も一つの案。場所は3カ所を想定

町長 「前田常作21世紀美術館」とする案も考えており、場所は、柵山小跡地、中央公民館跡地、水の小径周辺を考えている。今後各界の意見を聞き、世界へ向けて芸術文化の発信基地としたい。

問 「オレゴン国際交流ハウス」をどう進めるのか。

五十里助役 先日、フォーレストグループ市を訪問した折、市長とパシフィック大学長から具体的な敷地協力の話を聞いてきた。富山

県の協力も得られるよう、最善の努力を傾注したい。

問 納税貯蓄組合への補助金を見直すという話があるがカットするのにか。

平嶋企画財政課長 新年度予算査定で全ての補助金をゼロから検討し直したい。8年度は1150万円の補助金を出し、徴税率99・88%の好成績である。この事を踏まえて検討する。

教育センターの活用を

問 教育センターは宝の持ちぐされにせず、もっと活用すべきでないか。

中島教育委員長 研修、相談、資料提供の3機能を備え、優秀なスタッフを配置している。町民の理解を得て、最大の効果を上げるべく研究し、実行したい。

問 いじめ、不登校など教育現場の諸課題にどのように取り組むか。

上原教育長 問題行動が増えている。生徒指導主事の研修を3回増やし、年8回とした。担任だけでなく、全教師で対処し、医療機関とも連携して効果を上げており、良い方向に向かっていく。

# 町の高齢化対策は十分か

早川 誠一 議員（新政会）



高齢者雪吊り教室

町長

入善町に住んでいて良かった  
と実感できる対策を進めたい

問 町の高齢化は、国・県を大きく上回り、20%を超えている。デイサービスは、町民のニーズだが、特養老人ホームの建設が急務と考えるが、町は前向きに取り組む考えがあるか。また県の打ち出している、デイサービスの出前方式をどう受け止めているか。

町長 以前には、平成9年にも特養ホームの建設を考えていたが、新川地域の施設の充足率は100%となっているため、今すぐ建設できない。高齢化の進んだ町では、今日的な課題と思っている。今後、各層の協力を得て、

特養ホームの建設促進期成同盟会などを設置して対応していく。また、ふれあい交流プラザ周辺にも、デイサービス施設を考えている。

デイサービスは

今後を進めたい

上田福祉課長 県の示しているデイサービスの出前方式は中山間地向けの施策と思うが、今後、入善町でも取り組むことが出来るか、県とも十分協議して行きたい。

農業の将来構造を

どう考えるか

問 農業は、町の基幹産業だが、転作、米価の引き下げ、後継者不足など、深刻な状況にある。町の農業を支えるには、将来の構造をどう作り変えるかが重要である。

3万町民が、それぞれの立場から意見を出し合って農業の在り方を検討すべきでないか。

原点に戻って

検討すべし

町長 農業は町の基幹産業であることは、常に申し上げているところだが、今、きびしい状況にあり、町でも予算面で留意しているところである。

農業収入は農家収入の7〜10%位であり、再生産をも農外収入に頼る現状である。今後の農業の在り方は多くの課題があり、21世紀に向かって原点に戻って考えるべきである。今後、転作やとも補償についても、町は助成を含めて農業の将来に向かって検討して行きたい。また転作推進にも今後、農家負担の軽減につとめたい。

# 重要課題の農家負債軽減対策は

福澤 憲 一 議員 (民政会)

町長

土地改良区を統合し

少しでも負担を軽くしたい

## 土地改良区合併予備契約調



4 土地改良区の合併予備契約

公債残高の増加は、後世代の人達にも影響するのは

問 厳しい財政状況下での基本的な方針は。

町長 国をはじめ、市町村財政も厳しいのが現況であり、計画的な財政や健全財政を維持するよう努力しているところである。

問 8年度末の公債残高(起債と債務負担)は、100億7700万円であり、

町民一人当たり34万2000円の借金となっている。これからも公債残高が増えていくと考えられるが。

町長 債務負担については現在は努力して、5億6000万円に減っている。その主なものは、土地改良事業による。学校とか建物は後世代の人達も利用するものであるから、後世代の人達にも負担してもらおう考えである。

問 今後は、税收の延びも

期待できない反面、納税者人口が、数年をピークに減少する。長期的な財政計画は考えているか。

町長 納税者人口の減少は私も認識している。しかし町だけの問題ではなく、県下全域の問題である。また高齢者人口は反対に増加していくので、色々な事を考えてゆかなければならない。

問 農家の負債の実態はどうか。また、少

### 農家の負債対策は

しても負債の軽減策を行政の責任者として考えているか。

町長 現在農家の負債総額は、約26億円であり、10アール当たり6万2000円ぐらいの負債である。軽減策の一つとして、土地改良区の統合を考えており、平成9年4月1日をもって、4つの土地改良区が統合する。他の土地改良区についても農家や土地改良区の皆さんも、考えてもらい、早く統合してほしいものである。

問 高価な農機具を農家各戸が購入しているが、その稼働率は低い。購入費や償却費が農家経営を圧迫しているところであり、農業機械公社を設立し、適正な対価で農家に貸し出す考えはないか。

町長 農外収入で機械を買って、自己解決型の農業経営にも問題があり、農家の皆さんも根本的な意識の改革が必要である。しかし、農業は町の基幹産業であるので低コスト化や負担の軽減にこれからも現状を認識し対応するので、今は農業機械公社の設立は考えていない。

# 「高齢者・交流の場」づくり対策を問う

板川 清 治 議員（新政会）

上田福祉課長

各町内の公民館などの利用をPRしたい



公民館といこいの家に集うお年寄り（吉原地区）

問 国は、「新・寝たきり老人ゼロ作戦」について、市町村の役割をこれまで以上に強化する方針だが、本町の対策を伺いたい。

上田福祉課長 本町には、103の町内公民館がありこれを利用して、交流の場を広げて欲しいと思っっている。そのため「きっかけづくり」という形で事業補助なども考えている。

現在、ある地区では「自分の健康は自分で守る」という形で、自主的に活動されているグループがあるとのことですが、このグループについては、モデル事業という形で指定し、全地区に広まるようにPR活動を進めていきたい。

下水道事業の遅延  
そのメリットは何か

問 下水道事業が他市町村に比べ多少遅れた。しかしメリットを挙げれば何か。

町長 (一)下水道基金が8年度末で5億円を積み立てるなど財政的な手当てを将来にわたって見通しを立てながらやってきた。

(二)農業集落排水事業に対する予算がウルグアイランド関連で獲得し易い環境になった。

(三)浄化センターの建設にあたっては、浄化技術の向上により地元理解が得られ易い。

本多下水道課長 (一)汚水の浄化技術が進歩したので、

建設省は処理された水の有効利用を図るべきでないかと補助制度がでてきた。

(二)浄化技術の進歩により浄化用ディチ（溝）の上部を塞いでも、維持管理ができるようになったのでディチ上部をスポーツや多目的ゾーンとして利用できるようになった。

浄化センターは、どうして「東五十里地区」か

問 「東五十里地区」を浄化センターの建設予定地に選んだ理由を尋ねる。

町長 (一)人口集中地区の海側に位置する。

(二)東西の管路のバランスがよい。

(三)近くに放流河川があり自然流下できる。

問 処理水の環境に与える影響を伺いたい。

町長 浄化技術の向上で、下水道法に定めている水質基準以下で放流でき、補償金問題については基本的に考えていない。しかし、沿岸漁業振興基金を積み立てて、その果実を考えている。

本多下水道課長 近隣の市町村から影響があったとは聞いていない。

# 冗費の節約に対する 具体的方策を問う

田原 進 議員(民政会)



町長

食糧費、事務経費は必要最小限  
に切りつめる

事務経費の節約が期待される庁舎内

## 冗費の節約に対する 方策を問う

問 予算の適正な執行に当たり冗費の節約に対する具体的方策を問う。

町長 町は健全財政を基本とする徹底した経費の節減を図り、合理化のための各課ごとの一般財源ベースで少なくともマイナス5%のシーリングを設定して歳出全体を根底から見直し、ゼロベースから創意工夫を怠らぬよう指示をしている。事務経費は必要最小限に限るとしており、とりわけ食糧費など平成6年度の決算額では約1500万円、7年度決算額は950万円、平成8年度当初予算では750万円くらいである。いままでの大体50%を割る削減となっている。このように経費の節約に極力努めているところである。

## 南町地区中心部の 整備は

問 南町地区コアの整備をどのように考えているか尋ねる。

町長 中央商店街の活力が窮境にあるのは入善町だけ

のことでなく全国的な現象であり、どこの地域でも同じ問題が生じているところである。町としても永年の懸案であった駅前から8号線までの中央通り線の整備を行っているところで、特に中町から寺田町までの電線の地中化することによってグレードアップを図り、併せて下水道の本管を埋設するといふ、先を見越しての施策を行っているところである。

先般、ふれあい交流プラザの説明会において中央公民館跡地や健康センター跡地に美術館も考えの一つとして申し上げた訳であり、町としては、現在の時点では固定した考えは持っていない。

跡地の整備に関しては、JAとの関係もあり、くみあいマーケットを存続するのか撤退するのか判明していないので、存続ということであればどの様にリフレッシュするのか推移を見ていきたいと考えている。



衛生管理に万全を期す調理師



0-157対策について

# 学校給食に盲点はないか

町長

西尾 政 巳 議員(民政会)

衛生管理に1,000万円かけ事前対応  
関係者の努力に感謝する

問 学校給食は、一括購入と共通献立のために食中毒が起きた場合には、被害が大きくなるという弱点がある。また加熱処理後に0-157の菌が混入する場合もある。対策や対応を問う。  
町長 0-157対策には予備費から約1000万円程使い衛生管理した。幸い入善町では、問題が起らなかった。みんなに感謝したい。  
大沼学校教育課長 食材は学校ごとに信頼出来る業者から購入しているので、被害は最小限にとどめることができる。調理師には使い捨てのゴム手袋を使わせ、

1メートル以上の高い台の上に調理品を置くように指導している。  
問 学校の水の配管は延べ何百メートルにもなる。食中毒は初夏から初秋にかけて多発する。特に、夏休みは約40日もあり、デッド・ウォーターになる。受水槽の掃除や蛇口における残留塩素や細菌検査はどのようにしているか。  
大沼学校教育課長 月一回の細菌検査をし、受水槽の掃除は業者委託にしている。配管の掃除は出来ないため水を出しっぱなしにした後に使用するようになっている。

問 生野菜は危険であるという指導があったための献立の変更はあったのか。子供の成長に害が伴わないか。  
大沼学校教育課長 野菜の量を増やしてビタミン量の確保につとめている。

## 自主防災

組織について

問 初期防災活動で活躍が期待される町内会、自治会を基本単位とした地域単位の自主防災組織の結成計画はあるのか。  
鬼原総務課長 被害が大きくなると想定される市街地の町内会を手初めに、平成12年頃までに結成したい。

問 消火や避難誘導、救出救護の訓練の実施、そして実践的な能力を高める事が必要ではないか。  
鬼原総務課長 実効ある組織にしたい。



# 政府の行財政改革が 町政執行上、問題はないか

広瀬 喜代志 議員(新政会)

町長

総合計画を基準として  
慎重に町政を進めていく

問 平成9年度予算編成に当たって支出要求総額はいくらであったか。  
平崎企画財政課長 要求総額は112億円あったが、11億円ぐらい減額査定をしなければならぬ。

町長 古い物や文化を大切にすることは心を耕すこと、21世紀は心を重視した施策が必要だと思うし、予定通り総合計画に従って行いたい。  
問 各種の審議会、補助金協議会が数多くあるが、これ等について見直しや廃止について、どう考えているか。

五十里助役 今庁舎内に助役を中心として、行財政改革検討委員会を置き問題を抽出して対応したい。  
問 高齢化社会の進展は、これからあらゆる所にバリアフリー化が必要になってくるが、その考えはあるか。  
町長 高齢者・障害者の皆さんのために、今後十分検討し取り組んでいきたい。

予算が気掛かりな公共事業

## 高齢化の進行と

### 医療問題

問 町の地域保健医療計画の進捗状況、あるいは計画をどのように考えているか。  
上原環境保健課長 地域保健法や母子保健法の改正により医療保健計画は、常に見直しがせまられている。計画実現には人物、金の面で充実する必要があり、このため保健婦の増員や福祉医療の増額につとめ健康センターの建て替えも予定されている。住民の生涯の各時期と健康の状態に応じた保健活動を進めるためには福祉と健康窓口を一本化することが大切である。

問 医療問題は高齢化社会において大きな問題であり環境保健課、福祉課と分かれており一元化、あるいは課の統合を併せて考えるべきだと思いませんか。  
上原環境保健課長 平成12年には、ふれあい交流プラザが完成する予定になっており、その時点で組織の再編成と住民の健康福祉に対する情報の一元化が実現されると思う。

洗練の響き。眩惑の音色。

# モントリオール交響楽団

ORCHESTRE SYMPHONIQUE DE MONTRÉAL / CHARLES DUTOIT, Music Director

## シャルル・デュトワ 指揮



# ふれあい交流プラザの基本的な考え方を問う

東 狐 和 議員（町民クラブ）

### 町長

## 日照権や面積を重視したい

問 民意反映をいっどこで  
するのか。プロポーザル方  
式とかいう密室性の高い議  
論では、町民の理解は得ら  
れない。検討委員会の結論  
が出てからでは、議員の意  
見は反映されないではない  
か。

町長 ふれあい交流プラザ  
は、850坪では無理で日  
照権の問題もあり、550  
0坪は必要だ。（総合体育  
館周辺）

「同じ質問ばかりと  
りあげている」と議員  
軽視の問題発言あり。

問 議会は住民の声を反映  
させる機関であり、交流プ  
ラザ建設をテーマにした。議  
会は行政をチェックする

唯一の機関である認識が必  
要ではないか。

町長 執行部と議会は車の  
両輪である。21世紀を展望  
し、食生活改善連絡協議会や  
商店街・町民の立場に立つ  
て今後検討したい。

### 公的介護

### 保険ついて

問 高齢者対策を食いの  
にした不祥事態になつての  
保険法について町長の考え  
を問う。

町長 公的介護保険制度は  
税金で半分、保険料で半分  
をまかない、介護サービス  
の充実を図るものであり市  
町村に負担がかかることに

なる。

問 入善コスモホールの10  
周年記念行事について。

町長 アルゲリッチらの公  
演が病氣入院で中止になっ  
た。その代わりに、世界で  
も五指の実力と言われるモ  
ントリオール交響楽団を、  
来年3月15日に招くことに  
なった。

問 近隣の市町村が競って  
ホールを建てたが、互いに  
ネットワークして新川情報  
誌を発刊したらどうか。ま  
た照明、機器のオペレータ  
ーを広域圏で雇用配置され  
ないものか。

町長 新川広域圏で検討し  
ていきたい。

# 総合計画を見直し、暮らし、福祉優先に

九里郁子議員（日本共産党）

町長

バスの運行は

前向きに検討する



改装が求められている第1披露宴会場

問 町民総合計画を見直し暮らしや福祉、生活に密着した施策こそ優先すべきである。

まず、バスの運行について、どのような検討をしているのか。

町長 町民の足を守ることは大切であり、前向きに検討する。

問 武村福祉会館披露室を改修する考えはないか。

町長 前向きに検討したい。町民会館にエレベーター

を設置する考えはないか。町長 構造上の問題はあるが、検討していきたい。

プラスチック系

ゴミは分別して

収集せよ

問 プラスチック系ゴミを溶かして圧縮する減容機は金物類混入が原因で、3日から4日に一度修理が必要であり、鉄くずはビニラ系ゴミが増え、金を払わな

れば引き取ってもらえなくなるという実態をいつまで続けるのか。陶器類、金物類とプラスチック系ゴミを別々に収集すべきである。

炭カル袋は意味がない。

町長 減容機の問題は現場を見て確かめたい。

新しくできる炉は火力が強い。その時までには十分科学的調査・分析して対応してもよいのではないか。

消費税5%

増税中止の意思

表明を

問 消費税が5%になると入善町の消費税影響額は、約3億3300万円の減収になる。消費税増税中止の意思を表明すべきである。

町長 個人としては反対。町長としてはコメントする立場でない。直間比率の是正は必要。

排砂影響調査を

徹底的におこなえ

問 出し平ダムでの排砂影響調査を徹底的に行い、その結果に基づき、宇奈月ダムは排砂式にするかどうか検討するのが当然である。

住民の疑問にひとつひとつ答える場を設けること、宇奈月ダムの排砂式の是非の検討は、工事を中断して行うよう関係機関に強く申し入れるべきである。

審議の中で、工業用水などへの使用を示唆するなど水道以外の使用を検討するとはなにごとか。

町長 進捗率70%の宇奈月ダムの建設は続行すべきである。Vネックの地形上、排砂式のダムもやむをえない。水の有効活用を妨げることがあってはならない。

庄助川の維持・

管理は町の責任

で行うこと

問 湧水を水源とする庄助川の、もとの状態に関する資料をきちんと収集・調査し、補修が必要な箇所はその手だてをとり、周辺の維持・管理は、町の責任でおこなうことが必要だと思いがどうか。

町長 唯一の湧水を水源とする川であり、町の負担で自然を守り、残したい。果も費用を負担するのが原則と考える。

# なつとるがけ？



楽しく集う園生 (新川むつみ園)

## 今年の除雪計画は どいがけ

**問** 町予算や機械は十分け

**答** 今年の除雪予算は4947万7000円を計上しています。

除雪機械は、町と業者の機械で44台、大雪の時には、51台が出動します。

**問** 具体的な計画はどいがけ

**答** 町では、町長を対策本部長に3班の実施班、県や建設省、

## なぜ 新川むつみ園 を増設 するがけ

貸与委託者、町内の土木業者36業者を含む除雪体制で347路線を除雪します。降雪10〜20cmで出動します。

**問** どこから除雪するがけ

**答** 町では路線を第一種44路線、第二種50路線253路線と区分して除雪計画を組み、路線順位に行います。住民の皆さんのご協力をお願いします。

**答** 近年、重度の入園希望者が増えたために重度棟(定員30名)を増設します。

また、在宅者の生活指導や作業訓練のためのデイサービスも併設します。

**問** 建設計画ちやうどなつとるがけ

**答** 現在、基本設計の最中であり、平成9年7月に着工し、平成10年4月オープンの子定です。

**問** 総事業費とその内訳はどいがけ

**答** 総事業費は約6億5000万円で、その内訳は国や県の補助金2億3000万円、借



出動に向け点検整備

入金は約3億円です。借入金は、2市3町で20年間で返済します。

**問** 不足金1億2000万円は、どうするがけ

**答** むつみ園保護者会・手をつなぐ育成会・企業や一般家庭のご寄附で賄う計画ですのでご理解とご協力をお願いします。

## 固定資産の評価替は いつやるがけ

**答** 3年に1回見直されるもので、今回は平成9年1月1日から実施されます。

**問** 町の税率はどいがけ

**答** 税率は今ままでと変わらず、1.5100です。

# なぜなぜ問答

# ありやどう

問 入善町は高いがけ

答 標準税率は1.1/100で、最高は2.1/100が限度です。

入善町は標準税率より0.1高く、県下の状況から見ると平均と言えます。

問 土地の価格が下がっているから安くなるがけ

答 市街地の中心部で、3年前より6.8%、基準地価が下落しています。

問 家屋はどうなるがけ

答 平成8年度の新築、増築の家屋は、9年度の家屋評価基準で価格を求めます。

それ以前の家屋は、木造で97%、非木造で95%相当となります。

問 税金はどれだけ減るがけ

答 3年前の評価額に比べて8%減となり、金額で、約7000万円の減収となります。



町内の一等地？

## 上青小学校の児童が議会を初傍聴

一般質問2日目の午前中、上青小学校6年生71人が議会を傍聴しました。小学生の議会傍聴は初めてです。子供たちから感想文が寄せられたので、その一部を紹介します。

### 議会を見学して

宝田 翔吾

私は議会を見学して、議会はずいぶん面白いことを話しているんだなあ、びっくりした。

議会中は、とてもきんぱくしていて、ほくはあせがでた。

でもほくは、町民のために、ほくのためにやってくれているんだと心な思い、よそ見ができなかった。

ほくは、たった20分しか話を聞かなかったのにとてもつかれた。

それなのに、みなさんはしんけん、つかれを見せず話を聞いておられ、すごいなあと思った。

これからも、町民のためにがんばって下さい。

### 議会を見学して

小林 真奈美

私は、議会をたまにテレビで

## 子供達の傍聴記

見るくらいで、本当によく見るといことがぜんぜんありませんでした。

だから、このまえ自分で見てきた「なまの議会」は、すごくはくりよくがあつて議員の人達も一生けん命意見を述べている人の話をまじめに聞いていて、すごくかっこいいなと思いました。

だから、この町もいろんなところがよくなつたし、町の人達ももっとこの町のことを好きになつたと思います。それで、もっともつと他の県や町の人達にも愛してくれるような町づくりにしようと、毎日努力しているんだなと思いました。

私も大人になつたら、だれもが楽しく住みやすい町づくりをしたいです。

### 議会を傍聴して

小林 恵

話の内容は、まだ子供の私にとってはよく分からなかったけれど、私達が住んでいる入善町



真剣に傍聴する児童たち

について、とても大切なことを話し合っていることは分かりました。

また、議場の設備や議会の進め方なども教科書にはなく、実際に見るのができました。

実さきに議会を見て、私は今まで議会なんて自分には関係ないと思っていたけど、「自分の住んでいる町だから、自分も参加しているんだ」と思い直すことができました。

議会を見学して本当に良かったです。

# 各種団体からひとこと

入善町社会福祉協議会

会長 永井 浩



入善町社会福祉協議会は行政と連携のもと、福祉事業全般の企画、実施や調査広報活動を主業務とし、

併設のボランティアセンター、善意銀行、共同募金会などの事務のほか、数十にのぼる福祉団体の連絡調整運営助言や事務協力など多岐にわたる業務を処理しています。

財源は、町民の皆さんからの会費、補助金、共同募金の配当金、事業基金の果実などで賄われておりますが、低金利時代を迎え、やり繰りに苦労しております。さて、高齢化社会に照準を合わせた公的介護保険が

施行されても、財源や人的面で、多くのハードルがあります。私達はボランティアに対する関心を高めることに重点を置き、努力を続けております。

今後の福祉の町づくりはどうあるべきかを考えてみました。

- 三、生きがい対策のシルバ
- 一 人材センターの利用
- 四、教養を高め、趣味をはぐくみ、また、高齢者や児童の集いの場となる公民館の活用
- 五、高齢者相互の励まし合いを考えた福寿会の活動
- 六、足を考えての高齢者に対する投薬など、医療機関のご配慮
- 七、ボランティアとして、一番活躍願っている婦人会の変らぬご尽力

一、村長的役割を担う区長  
会長さんをはじめ、地区の方々の全面的な協力  
二、「いじめ」をなくすため  
情緒豊かな子供たちを育成する福祉教育の推進

には、アイディアの提供と会合などの機会に啓蒙活動を願えれば幸いと存じます。高齢化、小児化が急速に進むなか、福祉改革は待ったなしです。平和と豊かさに馴れた私達。高齢化の高浪の到来を共に真剣に考えて見たいものです。

## 野坂前議長に 感謝状贈呈



## 15年以上勤続の 5議員に感謝状

町長より次の永年勤続議員に感謝状が贈呈された。

- 五十里隆章議員（4期）
- 板川 清治議員（4期）
- 松沢 孝衛議員（4期）
- 佐藤 学英議員（4期）
- 野坂 俊一議員（4期）

## 傍聴席からひとこと

山本 外輝雄

（舟見）さん



過日、町議会最大会派の自民党議員が分裂し誕生した新政、民政向会派による代表質問があると聞き、12月議会を傍聴しました。

何かと多忙な師走にもかかわらず多数の傍聴者が詰めかけ真剣に見守る中、新政会、民政会の順に代表質問がありました。質問内容は町政全般に及び、熱のこもった迫力ある質疑応答が交わされました。日頃、町民党を標榜される町長の答弁は懇切丁寧で詳細に及び、質問議員から質問時間の延長を議長に求める一幕もあり、代表質問ならではの

と感じました。

年4回招集される議会の中でも12月議会は、明年度予算編成に直接反映される議会であると思います。国の財政事情が大変厳しく、政府は9年度を行政改革元年と位置づけた緊縮予算を組んでおります。町の9年度予算も少なからぬ影響を受けるであろうと思われませんが、当局の創意と工夫により今回の質疑応答がいかにかに生かされ、提案されるか、3月議会に期待したいと思います。

## 編集の窓

☆地方分権推進法が施行されてから一年半、ようやく地方分権推進委員会から、「分権型社会の創造」と題する第一次報告が橋本首相に提出された。この報告は、国が地方自治体に代行させている機関委任事務の廃止を明確に打ち出した点で評価される。

☆早速、町では、地方分権の受け皿を整備しておく必要もあることから、行財政改革推進委員会を発足し、第一回委員会を開催した。

☆委員会では、役場内の機構や人員配置・義務的経費・補助金などの見直し、各種審議会の在り方・改善などを狙いとしており、9年度予算にどの程度反映されるのかが期待する。

☆21世紀に向けて、地方が主役の行政システムを築けるかどうか、正念場はこれからだ。

- 議会広報編集特別委員会
- 委員長 板川 清治
  - 副委員長 本多 幸男
  - 委員 岡島 功
  - 委員 福沢 憲一
  - 委員 早川 誠一
  - 委員 九里 郁子